



動物の未来TIMES



にわとりはこんな生き物です

お外を
探検するの
楽しいな



命がけで
卵を守り
温めます



砂浴びはお風呂に入っ
たみたいがいい気持ち

人とも
仲良しに
なれるんだ



伝えたい、平飼卵の選択肢

日本のにわとりたち



日本の卵を産むにわとりの約98.5%が、生きての間ずっと身動きのとれない、1羽あたりB5のノートサイズのケージの中で過ごします。EUや米国の複数の州などでこの飼育方法は禁止されています。



とさかは白く、羽はポロポロに...

アニマルウェルフェア



動物たちが一生の間に感じる不安や苦しみをできるかぎり減らすため、それぞれの動物の習性に合った環境で過ごせるよう配慮することです。

日本の日本のアニマルウェルフェアのレベルは、世界最低ランクとされました。(2020年：WAPによる動物保護指数より)

放牧卵の栄養価

放牧卵は、卵黄中に含まれるオメガ3成分が一般的な卵の4倍程度豊富に含まれています。(鹿児島県にある自然放牧養鶏場「お多福たまご」の代表の福重智寛さんのお話より)

アニマルウェルフェアの商品

アニマルウェルフェアに配慮された卵の選び方

- ・平飼い
 - ・エイビアリー
 - ・放牧
 - ・オーガニック
- の記載がある卵

※「平飼い」：にわとりが地面の上で自由に歩き回るスペースをつくる飼育方法



たくさんのスーパーで売ってるよ

平飼卵を使った商品・エッグフリー商品の紹介



「こだわりや」「Prece」というお店で見つけた平飼卵を使ったタルタルソース・マヨネーズ

シャトレーの放牧卵ブランド「YATSU DOKI」



カゴメと2foods共同開発の植物性の卵



TOPVALUの、植物性マヨネーズ

アニマルウェルフェア畜産に取り組む農家に政府の補助金スタート!

農林水産省の令和7年度補正予算に組み込まれました。右のQRコードから詳細を読むことができます。

鶏のと殺前の意識喪失について→



持続可能な畜産への補助→



宮本養鶏さん インタビュー



宮本健太郎さん

愛知県田原市に位置し、40年以上の歴史をもつ宮本養鶏場なごみたまごさん。農園を営む宮本健太郎さんは、ケージ飼育から、農園の全羽数を平飼いに移行すべく、奮闘を続けられています。

Q：ケージ飼育から平飼いに移行されるにあたり、感じられたことを教えてください。

A：ケージの鶏たちが不健康に見えました。30cmほどの段差すら跳べない。「ご飯を自分で食べに行く」いう行動もできませんでした。不安もありましたが、少しずつ“外に出る”ことも教えました。最初は歩き方もぎこちなかったけど、時間をかけると体が思い出してくれるんです。その瞬間を見るとホッとします。

Q：なぜアニマルウェルフェアが必要なのですか？

A：「動物がかわいそうだから」という感情論だけでなく、私たち人間が将来も健やかに生きる「生存戦略」です。私はかつてケージ飼育の現場で殺虫剤を浴び、一週間動けなくなりました。本来鶏は砂浴びで寄生虫を落としますが、動けない環境では薬に頼

ります。動物が本来の姿で生きられる環境整備は、生産者と食べる皆さんの健康を守ることに直結します。

Q：今の「安さ」が将来の「リスク」になりますか？

A：はい。不自然な環境での薬剤多用は「薬剤耐性菌」を生み、2050年には人類最大の死因になると予測されています。私たちが将来病気になったとき、薬が効かない世界が来るかもしれないのです。目先の「安さ」の代償に、私たちは未来の命を支払っている可能性があることを知ってほしいのです。卵や食べ物を買う時、「何のために選んでいるのか？」を大切に



段差を跳ぶ練習中。「えらいね」と宮本さんが優しく声をかけます。

記事全文↓

小幡畜産さん インタビューレポート



2022年にケージ飼育から平飼いに移行し、国産飼料用米を用いた飼育を行っている茨城県茨城町の小幡畜産茨城県茨城町の小幡畜産を訪ね、代表取締役の平井真美さんにお話を伺いました。

初冬のやわらかな日差しが注ぐ穏やかな午後、小幡畜産の鶏たちは、クウクウクウと地面を突いたり、羽ばたいたり、思い思いの時間を過ごしています。

「敷料をサラサラにしておくのと喜んで砂浴びします。また、いじめられている子はいないかなど、日頃の細やかな観察が欠かせません。鶏たち振り回される毎日です。」という平井さんは、大変さを語りつつも、表情には鶏たちへの深い愛情がにじみます。

Q：平飼いに移行されたのはなぜですか？

元々、40年来ケージ飼いをやっていた養鶏農家が亡くなり、後を引き継ぐことになりましたが、老朽化した鶏舎や設備を更新するにあたって、鶏を狭いカゴにとじ込めて卵を産ませるケージ飼いを続ける考えがもてませんでしたし、世界の趨勢を考えると平飼いしかないと決断しました。

Q：テレビなどで見るケージ飼育の鶏と違い、伸び伸び過ごす鶏たちの姿に感動しました。

ケージ飼育の時は『卵を産む生き物』という感覚でした。平飼いで本来の鶏らしい姿に触れて、飼育する側も罪悪感がなくなり、本当によかったと思っています。

Q：消費者へのメッセージをお願いします。

穏やかな気持ちで大事に育てた鶏たちの卵は、おいしく食べていただくと信じています。卵を通じて鶏たちの幸せが伝えられれば。

Q：これから平飼いを目指す人にもメッセージを。

効率重視でケージに詰め込み輸入飼料に頼る養鶏は、持続可能とは思えません。経営は楽ではないですが、たくさんの人がチャレンジして欲しいです。



平井真美さん

記事全文↓

社会は少しずつ、良い方に変わっているのではないのでしょうか



平飼いは、数年前より格段に認知されるようになりました

発行元：認定NPO法人アニマルライツセンター
新聞部（ボランティアによるチーム）

住所：東京都渋谷区宇田川町12-3 ニュー渋谷コーポラス1009

お問い合わせはこちらから→



←アニマルライツセンター公式HP



←バタリーケージ参考動画



お店に「平飼い卵を置いてください・増やしてください」とお願いしてみるのもアニマルウェルフェアへの一歩です